

無所属
山田 貴正 議員

地域おこし協力隊によるコミュニティー支援を

問 地域の担い手不足や高齢化の解消に向けて、地域おこし協力隊を導入している他自治体の事例調査や、本市への適合性の分析、検証の状況は。

答 導入の検討には担い手不足等に対し協力隊による活動支援が可能か、他の手法が現実的かなど実情を踏まえた検討が必要。まずは地域自ら課題解決を図ることが重要で、若者や子育て世代の本音を聞く会等を開催し、得られた声を課題解消等につなげたい。

再発言 役員の高齢化で従来の活動は限界に達しつつある。実証実験や制度化に向け、協力隊の活用モデルを要望する。

ネーミングライツ制度の現状と今後の展開

問 制度導入から半年の評価と、他市のように企業と連携し魅力を高める仕組みを取り入れることについて、見解は。

答 認知度向上や新規イベントの開催など、おおむね良好なスタートを切っている。パートナー企業の選考では、施設の魅力向上や地域貢献も評価項目としており、今後も企業と連携して取組を進めたい。

再発言 契約をゴールとせず、伴走型パートナーとして協働の提案やマッチングサポートに主体的に取り組まれたい。



無所属
北岡 あや 議員

熱中症対策としてエアコン設置補助事業を

問 本市の熱中症による緊急搬送数と、搬送者宅のエアコン設置等の状況は。

答 本年５月１日～８月31日で165人。うち後期高齢者は85人で全体の51.5％。発生場所は屋内が87人、屋外が78人。屋内87人のうちエアコン未設置が15件で、設置されているが不使用であった件数は34件。

問 猛暑が続く中、エアコン未設置は、高齢者などには命に関わる問題である。生活保護受給世帯のエアコン設置では、社会福祉協議会の貸付や、保護課の審査がなかなか通らない中で、衰弱している人たちをこのまま放置していいのかと思う。福祉行政を担う市として、みやま市や八女市のようにエアコン設置補助事業を始めてほしいが、見解は。

答 近年の夏は記録的な暑さが続いており、熱中症対策は、市民の命を守るという観点から重要な課題と認識している。

本市としては、対象者の把握など整理・研究する必要があったため、市民にとって何が最も効果があるのかという観点を重視しながら、現在、研究している。

再発言 毎年この質問をしている。待ったなしの状況であり、検討している場合ではない。早急な対策を求める。

行政視察受入実績

行政視察受入（７月～９月）

月	日	都道府県	団体名	視　察　項　目
7	14	愛媛県	新居浜市	空き家等対策
	15	青森県	五所川原市	認知症支援の取組
	22	愛知県	豊川市	新ごみ焼却場の建設

インフォメーション

■次の定例会は12月です

詳細については、議会事務局（41-2800）までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

スマートフォン等でも議会中継（生中継・録画中継）が視聴できます。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（１階）または市民生活課（２階）奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画（過去５年度分）を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで12月上旬から閲覧できる会議録をご覧ください。

ホームページでも12月上旬から閲覧・検索できます。